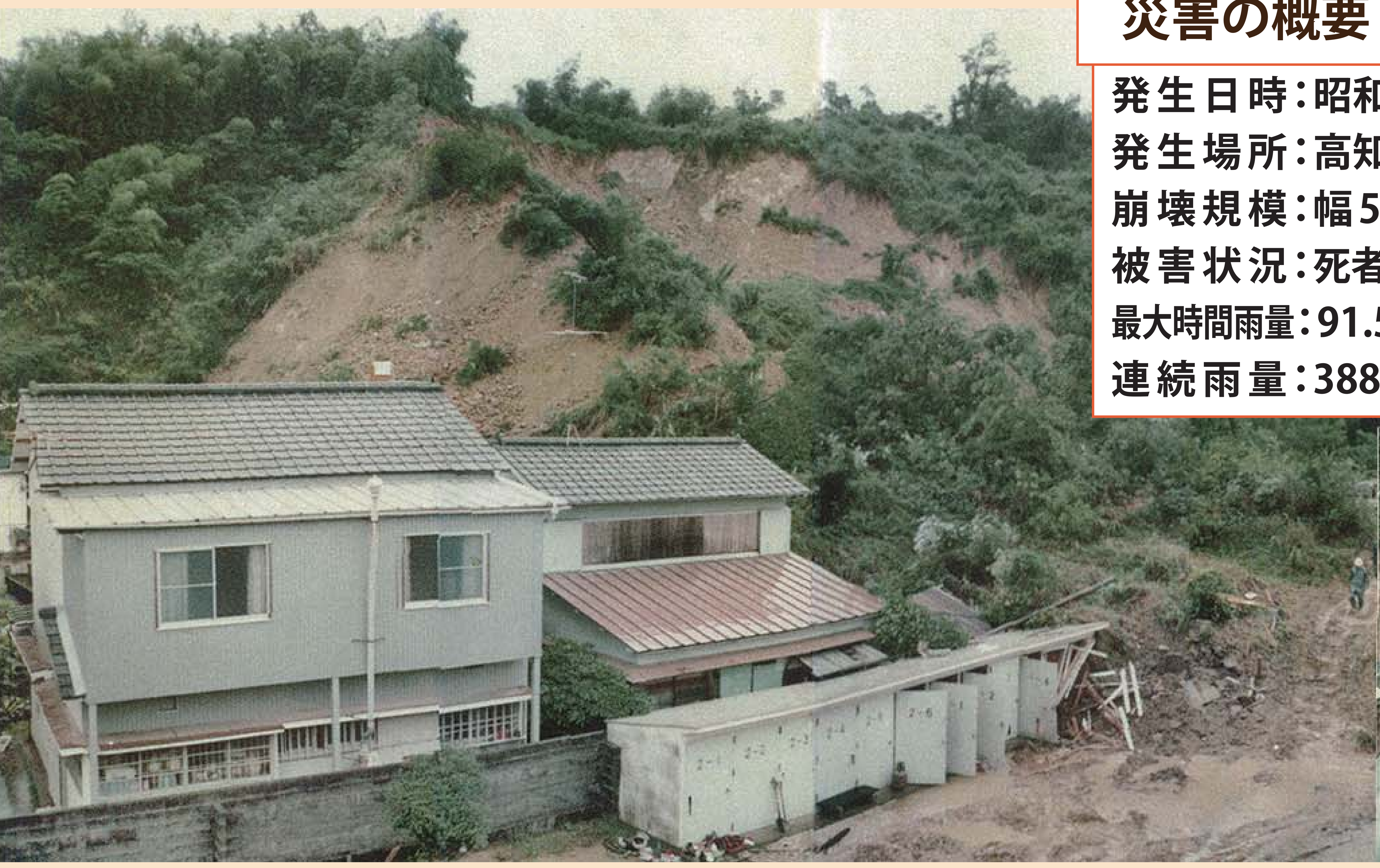
住宅地を襲った土砂災害
昭和47年9月15日　比島山災害



災害の概要

発生日時：昭和47年9月15日 19時15分ごろ
発生場所：高知市比島町２丁目（比島山の北面）
崩壊規模：幅50m、高さ約30m、土量２万 m3
被害状況：死者10名、負傷者３名、全壊９戸、半壊１戸
最大時間雨量：91.5mm（9月15日18時～19時）
連続雨量：388.5mm（9月4日０時～9月15日19時）

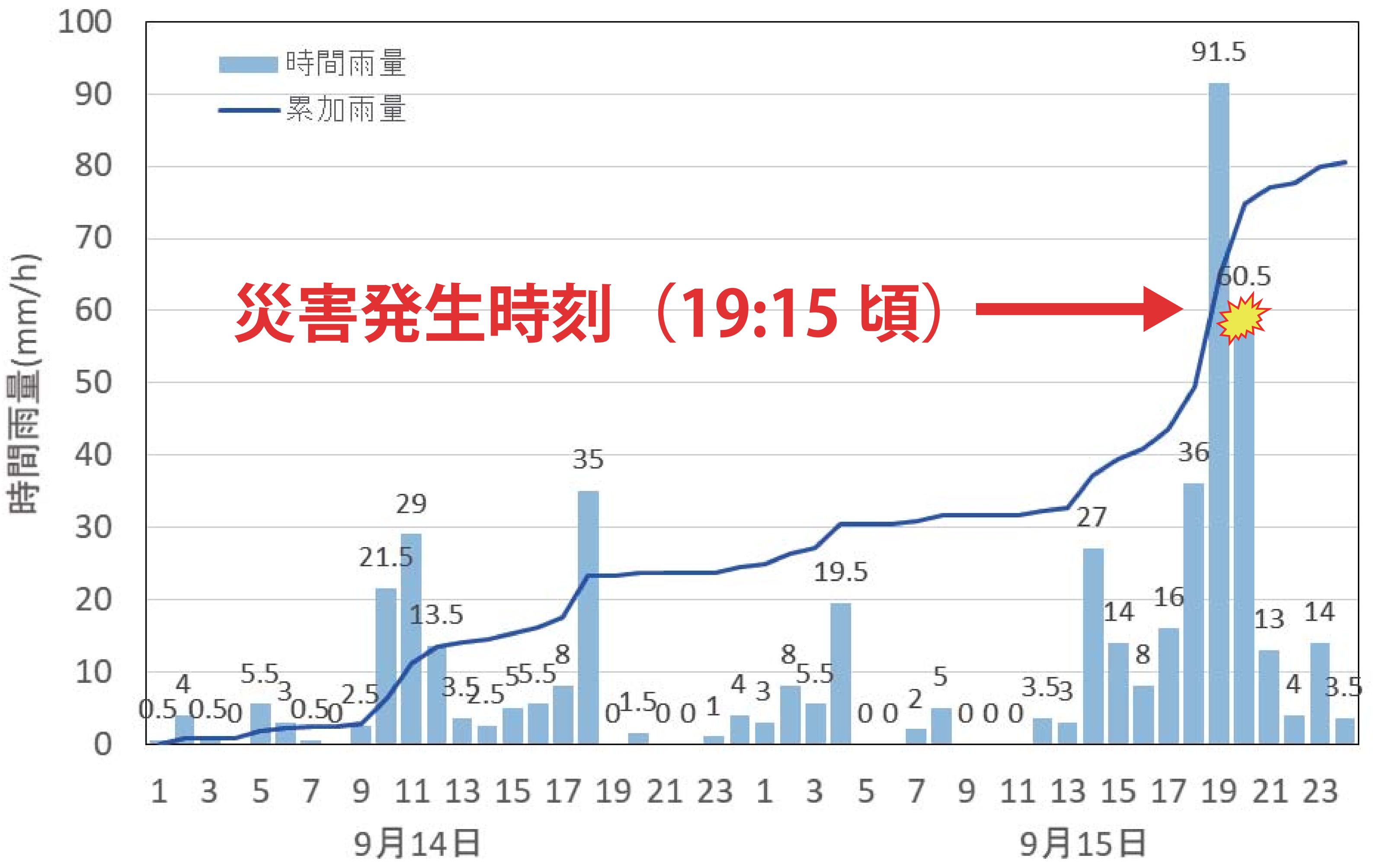
災害の特徴

住宅地で発生した災害

- **災害発生場所は、高知市の中心部に近い住宅地**であり山裾には**多くの人家が建っていた**。
- 斜面崩壊による大量の土砂が、これらの密集した住宅地を襲い、被害が拡大した。

局地的な大雨による災害

- 災害当時、高知市付近は**局地的な大雨**となり、時間雨量 90mm 以上の**猛烈な雨**が降っていた。
- また、前日からの累加雨量が 400mm 近くになる**記録的な豪雨**となっていた。



比島山災害の発生場所

高知市の住宅地で発生した土砂災害事例

（98高知豪雨・高知市横浜西町）

大雨が降れば、市街地でも土砂災害は発生します。
事前に危険な場所を把握し、大雨の時は適切に避難するための情報を入手しましょう。